

サポセン mail No.181.2018.6.17発行

＜発行元＞ 特定非営利活動法人 緑区子どもサポートセンター
千葉県緑区誉田町2-25-78 TEL&FAX 043-308-4436
E-MAIL:kids-support-midori@coffee.ocn.ne.jp
URL:http://saposen.konnjiki.jp/

『奨学金はローンと呼んで！』

日本学生支援機構の奨学金を返せず自己破産した人が過去5年間で延べ1万5千人。その半分は親や親戚らが保証人でした。



「奨学金破産」をめぐる報道には奨学金は「借金」であるということが明確に伝わっていないのではないか。という疑問が多く寄せられています。教育のための「ローン」と呼ぶことで卒業後のことをしっかり考えられる、という投書も相次いだそうです。



技術系の高校に通っていた男性は、成績はトップクラスだったが年収約300万円の家計を考え、就職するつもりでいました。3年生だった2007年度、米国発の金融恐慌の予兆が現れていました。学校の求人リストは減り、間座主大手自動車会社の名前もなくなりました。担任に相談すると、「よく勉強しているのだから、奨学金を借りて進学すればいい。」と勧められました。アルバイトで数万円を稼ぎながら贅沢もしなかったが、卒業時には奨学金は835万円に膨らんでいました。就職活動はうまくいかず、非正規職や期間工として働いてきました。1年前に友人のついで鉄鋼会社の正社員になったが、手取りは20万円。3万9千円ずつ返しているが、48歳まで払い続けられるのか、連帯保証人の父の顔が目に浮かび重い気持ちになるそうです。

山梨県の高校で奨学金の担当をしていた元教諭(62)は奨学金を返せず自己破産する例を知り、教え子を思いました。『自分も加担していたのではないかと苦しい気持ちになります。』手続きに必要な書類を集める中で、借りざるをえない家庭の諸事情が見えてしまう。とはいえこんなに借金を背負って大丈夫か。懸念を抱きながらも、大学に行きたいのならと申請をさせてきました。「返す額がいくらになるのか。働きながら返すのがどれだけ大変か。もっと伝えた方が良かったかもしれない。ただ、受験を控えた18歳前後の生徒にどこまで届いただろう、とも思う。」と語っていました。



こうした結果を受け、支援機構はファイナンシャルプランナーを高校へ派遣する試みを始めています。 <朝日新聞の記事を参照しました。> (記 安藤)



お母さんありがとう！



染花のカーネーションづくり

あそび塾の子どもたちは（特に男の子は）お母さんが大好きなんだな。と感じることはこれまで度々ありました。

そこで今回は染花のカーネーション作りをして、お母さんにプレゼントすることを企画しました。



5月の第2日曜日『母の日』、あすみが丘プラザに鳥居敦子先生に来ていただきました。鳥居先生は公民館などで染花の指導をされていて、カーネーションだけではなく季節ごとにいろいろな花の染花のアートフラワーの指導をしています。

4枚の布を自由に染める

自分の作りたいカーネーションの色ごとに、その絵の具の用意された机に座ります。作りたいカーネーションのイメージが決まっている子も多く、淡い色の花びらにしたい！緑色のカーネーションにしたい！など言いながら準備にかかりました。先生も「そ



んな色のカーネーションはないよ。」なんて言わず、自由に染めさせてくれました。

違う色の花びらを混ぜ合わせて作りたいという女の子もたくさんいました。

こうすけくんは淡い色の花びらにしたいと決めていましたが、乾いた時にどんな色に仕上がるか少し不安でした。でも、乾燥機の上で乾かすと淡い色のきれいな花びらになりました。子どもたちが染めた布が乾燥機の上できれいに染まっていきました。色染の仕上がりにどの子も満足そうでした。

ボンドで針金を固定する

半分に切って8枚になった染布をボンドで細い針金に巻きつけながら細かい作業が続きます。小学生には細かく難しい作業でしたが、



どの子も飽きることなく、よく集中していました。1～2年生に同伴して下さったお母さん方が自分の子どもだけでなく、他の子たちもフォローして下さりありがたかったです。カーネーションの花びらがきれいに出来上がりました。



花びらのがくはこてを使って

花びらの根元につけるがくは緑色の布を熱く熱したこてを押し付けて、くるっと丸みを帯びた形にしていきます。子どもたちには結構難しい作業ですが、細部にまでこだわって本物のカーネーションのようになっていきます。



がくがついた後ははっぱをハサミで作り茎の両側に穴をあけ差し込みます。カーネーションのらしくなりますが、大人でも結構難しい作業です。ことりちゃんは先生に手伝ってもらいながら、粘り強く作り上げました。

作成するカーネーションは1本と聞いていたので、簡単にできてしまうのではないかと少し心配していましたが、子ども達は2時間の細かい作業をすごい集中力で取り組んでいました。とても満足感のある出来栄えだったと思います。



ちょっと恥ずかしそうにお母さんにカーネーションを渡す姿が可愛らしかったです。(安藤)





時々、畑の様子をお知らせします。

6月3日(日) 自由参加の畑活動



今回は暑さを予想して時間を午前にして作業をしました。

畑に着くと、まだ朝露がたくさん残っていて、履いていた靴が濡れてしまうほどです。ジャガイモの様子を見てみました。

少し土の中をのぞいてみると、

大きないもができています。

トマトはとても良く育っていて、先日来た時に脇芽取りをして挿し木をしたものが元気に生きていました。

実が少し色付いていました。

脇芽取りをし、一本のを二本仕立てにしていきます。



サツマイモは一つの苗を除いて順調に育っています。

レタスを収穫し、畑を出て事務所へ向かいました。

ブルーシートを敷いて土作りをし、ポットに土をいれ、二個ずつ枝豆の種を入れました。

今回使用したのは、培養土、赤玉土、ピートモス、腐葉土です。

最後に水をかけて終わりです。

今後は発芽するまで水やりはせず、発芽してから畑に定植するまでは事務所などで水やりなどの管理をします。

7月までには植えられるはず



(6月15日の枝豆)

次回7月1日(日)はジャガイモ、トマトの収穫、予定しています。

集合：9時菅田駅改札口(土気発8:56 鎌取8:45)